

SDGs達成に向けた取組チェックリスト


















・期待レベルが「基本」の項目(黄色マーク項目)は、必須記載項目です。
 ・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

様式第3号

【基本的な事項】

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	環境 ・社会 ・経済	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	性別、年齢、発達特性の異なる子どもたちが分け隔てなく過ごせる環境を整えます。 職員の雇用に関しても性別問わず、元気で社風に合った方を採用し、男性、女性がともに活躍できる環境を目指します。					○			○		○							○	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	セクシュアルハラスメント等の禁止について就業規則を定め、セクハラ・パワハラ対策委員会を中心に【妊娠、出産、育児、介護等に関する否定的な言動や性別役割分担意識に基づく言動等がハラスメントの原因になる】ことについて適宜注意喚起をします。					○				○									○
	【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	残業可能な期間をイベント前や上長の指示があったのみに限定し、必要以上に会社に残ることの無いよう呼びかけを行っていく。また、残業に限らず自発的に業務に取り組む職員については管理職より個別に話を聞く機会を作り、業務改善につなげられるよう取り組んでいます。										○								
	【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	国籍や人種に関係なく、個人の能力を見極め、当センターの社風にあった人材を採用します。 またスキルの獲得に必要な教育（研修）についても積極的な参加を促します。				○					○		○							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	定期的な産業医の巡回により、労働環境の整備に努めています。 また随時職員からの意見を吸い上げ、事故を未然に防ぐための取り組みを行います。				○						○								
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	定期的にストレスチェックを行い、その結果を産業医により評価します。 必要に応じて作業療法士による精神評価を実施し、無理のない作業環境を目指します。				○														
	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	適切な職務分掌により雇用の幅を広げ、活躍できる環境を整えます。					○				○		○							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会					○						○								
	【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、 経済						○					○	○							
	【雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、 経済											○		○						

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待 レベル	環境 ・社会 ・経済	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	ペーパータオルやトイレトーパーの使用に対してコスト意識を持つことが出来るよう呼びかけ、廃棄物に関しては再資源化が可能となるよう適正な分別を行います。											○	○		○					
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	各社有車の走行距離、使用状況を運転管理表に記載し、燃費や送迎時の走行距離などを比較することで無駄のない使用を徹底します。							○						○						
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	夏季、冬季の冷暖房温度を設定し、使用していない部屋では必ず冷暖房の電源を切ることを徹底します。（夏季26℃～28℃ ・ 冬季20℃～23℃）							○						○	○					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	安全衛生委員会を中心にセンター内外での危険物の取扱については適宜確認を行っている。定期的な産業医の巡回もあるため、使用する化学物質がある場合には危険性について必ず確認することとします。			○			○					○	○							
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	センターの建設・増設にあたり新たな土地開発の可能性を考慮し、敷地内への植林などを行うことで生物多様性の保全に努めていきます。						○										○			
16	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境							○													
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境				○			○	○					○	○	○	○				
18	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境													○							
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境								○						○						
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境													○	○	○	○				
21	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境							○						○	○	○	○	○			
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	入職時の研修にて贈収賄の禁止について説明を行います。また個人情報保護の観点も含め、ご家族との健全な関係性の構築に努めるよう社員に教育を行います。																	○		
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	各関係機関との透明で公正な関係を保ち、反社会的勢力・団体からの不当な要求に応じたり、利用するような行為は行わないように周知しています。																		○	
24	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	センター内で使用するアプリケーションや個人情報等の知的財産については、センター内のネットワークでのみ使用できるよう制限をかけています。								○	○										
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	入社時には社員教育として個人情報保護についての研修を実施している。また新規利用者に対しても必ず個人情報使用に関する同意書の説明を行い、社員に対しても個人情報漏洩の危険性について伝えています。																		○	
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会																			○	
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	応用	社会						○			○		○		○	○	○	○	○	○	○	

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待 レベル	環境 ・社会 ・経済	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																						
28	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	産業医による定期巡回に加え、外部研修にも積極的な参加を促しています。 新人職員への研修に合わせて既存の職員に対しても園内研修を行っています。			○									○						
29	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	サービスの質の向上に向けてセンター内ではPDCAサイクルの仕組みを構築 しています。 センター内での事故やヒヤリハットに対して改善策を講じていきます。									○									
30	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、 環境							○						○	○	○	○			
31	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、 経済		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、 経済	サービスの特性上の問題はありますが、近隣施設への訪問、交流保育などに より交流を図り、様々な面で理解が得られるよう努力します。また交通量の 増加による事故防止のため、ミラーを設置するなどの配慮を行います。				○							○	○			○	○	○	
33	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会					○							○				○	○	○	
34	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	応用	環境、 社会、 経済									○	○		○	○	○					
35	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	利用者様に対する契約書、就業規則に法令に準ずる規則を掲げ、常時確認が 出来るようにセンター内に掲示しています。社員全体に浸透すべくセンター 内での研修もを行います。																	○	
36	【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、 社会、 経済	経営理念についてはセンター内での社員研修にて周知し、経営目標につい ては各部門ごとの話し合いの中で決定、議事録にて社内への共有を行います。									○	○								○
37	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会																		○	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備さ れている	応用	環境、 社会																		○	
39	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロ セスが整備されている	応用	社会、 経済																		○	
40	【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている	応用	環境、 社会																		○	
41	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応してい る	応用	社会																		○	○
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、 社会、 経済										○		○		○				○	

